

令和 2 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人逗子市社会福祉協議会

目次

前文	1
----	---

I. 法人運営部門

1. 法人運営事業	2
(1) 評議員会・理事会・監事会・苦情解決第三者委員会・部会・ 評議員選任・解任委員会	2
(2) 研修	4
(3) 会員制度	4
2. 企画広報事業	5
(1) 企画	5
(2) 広報	5

II. 地域福祉活動推進部門

1. 地域福祉推進事業	6
(1) 逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画の推進	6
(2) 地域安心生活サポート事業	6
(3) 生活支援・介護予防サービス体制整備事業	6
(4) 障がい福祉事業	8
(5) 児童福祉・子育て支援事業	9
(6) 介護予防普及啓発・地域活動支援事業	11
2. 助成事業	11
(1) 各種福祉関係団体活動支援	11
(2) ボランティア団体活動支援	11
(3) 子ども食堂応援事業協力金の支給	11
3. ボランティアセンター事業	12
(1) ボランティア活動事業	12
(2) 災害対応事業	12
(3) 福祉教育推進事業	12
(4) 情報カフェ	14

III. 自立支援事業部門

1. 日常生活自立支援事業	15
(1) 相談対応・実績	15
(2) その他	15
2. 成年後見事業	16
(1) 法人後見事業	16
(2) その他	16
3. 生活困窮者自立相談支援事業	17
(1) 相談対応・実績	17
(2) 支援結果等	17
(3) フードドライブ事業	17
4. 家計改善支援事業	18
(1) 相談対応・実績	18
(2) 支援結果等	18
5. 生活支援事業	18
(1) 資金貸付事業	18
(2) 生活援護事業	19
6. 在宅支援事業	19
(1) フレンドリーヘルパー派遣事業	19
(2) あゆむサービス事業	20
(3) 介護に関する入門的研修	20
(4) 介護職員初任者研修	21

(5) 家族介護者支援事業	21
(6) 介護はじめの一步研修	21
(7) お元気確認サービス事業	21
(8) ひとり暮らし高齢者訪問指導事業	21
7. さくら貝サービス事業所	22
(1) 居宅介護支援事業	22
(2) 居宅訪問介護サービス事業	22
(3) 障害者総合支援事業	23
8. 地域包括支援センター	23
(1) 総合相談・支援業務	23
(2) 権利擁護業務	23
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務	24
(4) 介護予防ケアマネジメント業務	24
(5) 認知症及び地域活動に関する取り組み	24
(6) 介護予防実態把握事業	25
(7) 地域ケア会議推進事業	25
(8) 生活支援・介護予防サービス体制整備事業	25
(9) その他	25

IV. その他

1. 逗子市福祉会館管理運営事業	27
2. 基金等運営事業	27
(1) あゆむ銀行の運営	27
(2) 福祉基金の運営	28
3. 車いす・イベント機器の貸出	28
4. 社会福祉実習生の受け入れ	28
5. 駐車場管理運営事業	28
6. その他	29
(1) 神奈川県共同募金会逗子市支会事務局	29

令和2年度逗子市社会福祉協議会事業報告

社会福祉法や介護保険法の改正など、社会福祉法人が地域に求められる役割が大きく変化しているなかで、令和2年度の逗子市社会福祉協議会においては、関係機関・市民等と連携し、様々な地域福祉の推進を図ることができました。

令和2年度の重点事業の実施結果は以下の通りです。

1. 総合相談支援体制の強化

地域福祉推進係と地域生活支援係が一体的に事業に取り組む体制を構築しました。両係の特徴を生かし、個別支援と地域支援の連携を図っています。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困窮している方からの相談が急増し、両係の職員が協力して対応しました。

2. 困りごとを抱える人が「つながる」地域づくり

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の中で困りごとを抱える人が増えています。新たな課題に対し、相談支援機能やフードドライブ事業などを強化し、困りごとを抱える人が具体的な支援や関係機関につながる取り組みを行いました。

また、サロン等の地域活動が新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できない状況が続いています。人との対面による交流ができない場合でも「つながる」方法や仕組みを考え、オンラインによる取組等を実施しています。

3. 福祉の人材育成活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインによる取り組みを実施するなど感染症対策を講じて一部の事業を実施しています。一方で、中止となった講習会等もあります。本年度実施できなかった内容について、次年度に実施する予定としています。

福祉教育は、学校との調整が難しい状況にありましたが、一部の内容について実施することができました。

4. 法人運営体制の強化

各係代表者によるミーティングを継続して実施し、組織内連携を強化しました。また、規程の見直しや人事評価の制度設計を行い、法人機能の強化を図りました。

以上の内容を中心に事業運営を進めました。各事業における実施内容は、以下のとおりです。

I. 法人運営部門

1. 法人運営事業

(1) 評議員会・理事会・監事会・苦情解決第三者委員会・部会・評議員選任・解任委員会

本会の運営・経営管理上の重要事項や基本方針・適切な事業執行等の決定を行うため、評議員会・理事会等を次のとおり開催した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部書面審議とした。

ア 評議員会

- ・第1回 令和2年6月19日（議決があったものとみなされた日）

議決があったものとみなされた事項

議案第1号 令和元年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業報告について

議案第2号 令和元年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会決算報告について

議案第3号 令和2年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第1号について

議案第4号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会定款の一部改正について

※第1回評議員会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催せず書面同意とした。

- ・第2回 令和2年10月20日

議決事項

なし（報告事項のみ）

- ・第3回 令和3年3月26日（議決があったものとみなされた日）

議決があったものとみなされた事項

議案第5号 令和2年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第2号について

議案第6号 令和3年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業計画について

議案第7号 令和3年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会予算について

※第3回評議員会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催せず書面同意とした。

イ 理事会

- ・第1回 令和2年6月2日

議決事項

議案第1号 令和元年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業報告について

議案第2号 令和元年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会決算報告について

議案第3号 令和2年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第1号について

議案第4号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会定款の一部改正について

議案第5号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会さくら貝サービス事業所指定居宅介護支援事業運営規程の一部改正について

議案第6号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会さくら貝サービス事業所指定訪問

介護事業運営規程の一部改正について

- 議案第 7 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会さくら貝サービス事業所指定障害福祉サービス事業所運営規程の一部改正について
- 議案第 8 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会さくら貝サービス事業所指定介護予防・生活支援サービス事業第 1 号訪問事業運営規程の一部改正について
- 議案第 9 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
- 議案第 10 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会第三者委員の選任について
- 議案第 11 号 評議員会の開催について

・第 2 回 令和 2 年 8 月 25 日

議決事項

- 議案第 12 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 議案第 13 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会小坪海浜地駐車場管理運営規程の一部改正について
- 議案第 14 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会地域包括支援センター運営規程の一部改正について
- 議案第 15 号 評議員会の開催について

・第 3 回 令和 3 年 2 月 1 日（議決があったものとみなされた日）

議決があったものとみなされた事項

- 議案第 16 号 評議員会の開催について

※第 3 回理事会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催せず書面同意とした。

・第 4 回 令和 3 年 3 月 19 日（議決があったものとみなされた日）

議決があったものとみなされた事項

- 議案第 17 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局規程の改正について
 - 議案第 18 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局職員就業規程の改正について
 - 議案第 19 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会業績目標及び評価制度実施規程の制定について
 - 議案第 20 号 令和 2 年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第 2 号について
 - 議案第 21 号 令和 3 年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業計画について
 - 議案第 22 号 令和 3 年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会予算について
- ※第 4 回理事会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催せず書面同意とした。

ウ 監事会

本会事業の遂行状況、財務の執行・管理状況について、監事による監査を実施した。

- ・金庫監査 令和 2 年 4 月 1 日
- ・本監査 令和 2 年 5 月 21 日
- ・前期監査 令和 2 年 11 月 24 日

エ 苦情解決第三者委員会

令和2年度苦情件数は0件であった。サービス利用者の権利保護を十分に行えるよう包括的な苦情解決の仕組み「第三者委員会」を組織した。

オ 部会

担当理事制を設け、理事と事務局が一体となり課題の共有化を図るとともに解決するための検討協議する場として部会を設置、開催した。

(ア) 法人運営部会

組織的な課題に関する各種検討を行った。

- ・合計2回開催

(イ) 地域福祉活動計画部会

「コロナ禍における貸付等の相談対応」及び「成年後見制度における中核機関」について、状況報告、意見交換を行った。

- ・合計1回開催

カ 評議員選任・解任委員会

評議員の選任にともない書面決議での委員会を実施した。

- ・第1回 令和2年6月5日

(2) 研修

ア 役員等研修

役員等研修として、湘南ブロック社会福祉協議会連絡協議会研修に参加した。

イ 職員研修

県社会福祉協議会等で開催された様々な研修及び各事業に関連する研修等に参加し、職員の資質向上に努めた。

(3) 会員制度

自主財源の確保や本会活動への参加促進を目的に、市民、団体、企業等の協力により、会員募集活動を実施した。募集は、自治会・町内会、民生委員児童委員等の協力を得ながら行った。

会員概要

- ・個人会員 一口 500円
- ・団体会員（原則、福祉関係団体） 一口 5,000円
- ・団体賛助会員（本会の主旨に賛同する企業、商店等） 一口 5,000円

※団体賛助会員は、税額控除の対象となるあゆむ銀行（寄付）と選べるよう案内した。

会員・会費実績

	会員数	金額
個人会員	2,559名 (2,881名)	1,640,545円 (1,701,001円)
団体会員	71団体 (74団体)	480,000円 (495,000円)
団体賛助会員	49団体 (52団体)	275,000円 (295,000円)
合計		2,395,545円 (2,491,001円)

※（ ）内は、令和元年度実績

2. 企画広報事業

(1) 企画

ア 第五次強化計画の進行管理

人事評価制度について具体的な検討を進め、法人運営部会等で協議し制度設計を進めた。

イ 福祉功労者の顕彰

社会福祉功労者（民生委員児童委員、ボランティア団体等）や福祉施設等従事者などの顕彰を行い、その功績を讃えた。（神奈川県共同募金会逗子市支会と共催）

- ・被表彰者 社協関係 28名 3団体
共募関係 1名 2団体

ウ 業務のスリム化

紙の使用量削減のために、職員への全体周知等はメールを活用し、ペーパーレスによる取り組みを進めた。また、離れた事務所からオンラインで会議に参加する取り組みを実施し、移動時間の省略等を図った。

(2) 広報

ア ガイドブックの作成

本会及び活動内容を周知するためにガイドブックを作成し配布した。

イ 広報紙の発行

広報紙「さくら貝」を隔月発行し（1回あたりの発行部数約4,000部）、自治会・福祉団体・サロン・施設等へ配布した。また、録音ボランティアグループ「やまぼとの会」の協力により、視覚障がい者用CD版を毎号発行した。

ウ ホームページの運営

事業の周知、連絡用ツールとして、ホームページを一部改訂し運用した。

Ⅱ. 地域福祉活動推進部門

1. 地域福祉推進事業

(1) 逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画の推進

第三次逗子市地域福祉活動計画にあたる計画を逗子市地域福祉計画と一体化した計画（逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画）として策定し、その8年計画施行6年目として逗子市と連携し、地域支援活動を推進した。

- ・逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画懇話会（書面会議）

計画の所管評価に対する意見徴収及び進捗状況の確認の場として開催した。

- ・第1回 令和2年6月8日、第2回 令和3年3月8日

(2) 地域安心生活サポート事業

小学校区を地域別活動圏域に設定し、地域の中で支援が必要な人を、お互いさまサポーター（地域住民）が見守る体制づくりを推進した。

- ・サポーター数 491名
- ・利用登録者数 180名
- ・サポーターチーム 25チーム
- ・サロン活動 19チーム（地域安心生活サポート事業及びその関連より派生したサロンが継続運営されている）
- ・新たな取り組みとして、「多世代交流サロン」（逗子4丁目）の立ち上げ支援を行った。

(3) 生活支援・介護予防サービス体制整備事業（逗子市からの受託事業）

第1層生活支援コーディネーターとして、社会資源の把握・資源開発・ネットワーク構築・ニーズ対応活動を通じて、多様な地域資源を活用しながら、生活支援・介護予防に係るサービスの体制整備を実施した。また、第2層生活支援コーディネーターとの協議、逗子市社会福祉課との打合せ、各小学校区住民自治協議会への出席、地域包括ケア会議への参加等を行った。

ア 社会資源の把握（データ管理、情報収集、更新）

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることを目的として、日々の生活で活用できる便利なサービス情報を集約し、「かながわ福祉サービス振興会」と連携の基、かながわ福祉サービス振興会のホームページ「地域包括ケアシステム」で掲載した。

- ・掲載数：20業種（更新作業は随時実施）
- ・支援者（専門職）への周知：Z-ケアネット会合の場、及び介護保険事業所に周知
- ・住民への周知：自治会町内会の回覧板等でチラシ配布及び会合等での説明
- ・活用に関するアンケート調査実施：居宅介護支援事業所を対象に実施（28件）

イ 担い手育成

元気な高齢者などが担い手として活動する場の構築や、生活支援・通いの場（サロン）における担い手育成と確保を目的とし、各種養成講座の検討等を行った。

- (ア) 「高齢者生活支援担い手養成研修」→新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- (イ) 「送迎サービス担い手養成研修」→新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- (ウ) 担い手の増員

今年度開催の研修会（「介護に関する入門的研修」「介護はじめの一步研修」）と

連携し、研修修了者を「高齢者生活支援担い手養成研修」の修了者として認定した。
修了認定者 39 名。

(エ) 「高齢者生活支援担い手養成研修」の終了者へアンケート調査を実施。送付 151 名、
回答 83 名。

・訪問型サービス事業所への未登録者 52 名

ウ 地域における通いの場の推進

住民同士の交流や健康維持、地域活性化を目的としたサロン活動（参加者を固定せず
誰もが集える場の提供）を住民主体で展開している団体に対し、新規立上げや継続支援
を実施した。

(ア) コロナ禍の支援

a 「サロン再開!! 応援 開催の留意事項」の作成

・4～5月の自粛期間後、サロンを再開するにあたり、各団体から感染予防等に対する不安の声を受けて、中部地域包括支援センターが地域ケア推進会議でサロン団体の情報交換を実施。サロン団体等からの意見を取り入れ「サロン再開!! 応援 開催の留意事項」を作成した。49 団体へ配布。

b 「サロン再開!! 応援グッズ」の提供及び貸出し

・上記会議を受け、サロン開催における必要物品の調達が難しい時期でもあったため、本会において応援グッズとして消毒液、ビニール手袋、非接触型体温計等を準備した。各団体のサロン再開時に、必要に応じて、提供または貸出を行った。32 団体へ配布。

c 各団体の状況確認及び情報提供

・サロンの再開状況やスタッフの見解、参加者の様子等、各団体に適宜聞き取りを実施した。サロンの再開時には、職員が参加し、感染予防対策や参加者状況等の確認を実施した。また、逗子市、各地域包括支援センター、介護連携相談室、本会等からの情報資料を必要に応じて各団体に配布した。休止中のサロンは、自宅で活用できる資料をスタッフから各参加者に配布した。49 団体に実施。

d 「体操に参加しよう」を開催

・コロナ禍によりサロン活動を自粛している地域（池子地区）を対象に運動・交流の機会を提供した。12 月から 3 月に合計 3 回開催、延べ 74 名が参加した。

e オンライン活用の支援

・各団体に対してオンライン活用に関するアンケート調査を実施。また、オンライン会議（ZOOM 等）の利用を支援し、一部のサロン等で実用化した。

アンケート調査：27 団体（回答は 21 団体）

f 各団体の取り組みを共有

・各団体が実施した取り組みを把握するためにアンケート調査（団体数は上記参照）を実施。また、各団体と集えなくても繋がる（交流）方法を検討・実施した。

(イ) 新規立上げ支援

・多世代交流サロン（1 回開催、17 名参加）

(ウ) 継続支援

・サロン数：49 団体（体操・ポールウォーキング活動団体含む）

・コロナ禍により閉会した地域のサロンの再稼働を支援。

- ・サロン情報冊子を更新。(掲載 47 団体)
 - ・プログラム、運営に関する助言及び支援を実施。
- (エ) 住民主体の通いの場への専門職派遣モデル事業の実施 (県モデル事業への協力)
- 元気高齢者が集う場として介護予防の視点や専門職との連携を推進し、効果的な活動の支援を行った。(作業療法士と管理栄養士の専門職派遣を実施)
- ・対象：「小坪のサロン」
 - ・実施回数：3 回 (他説明会 1 回)
 - ・参加人数：延べ 101 名

エ 地域における支え合いの仕組みの推進

第 2 層生活支援コーディネーター (東部・中部・西部地域包括支援センター) と連携して、地域住民に対し、地域における支え合いの意識醸成及び普及啓発を行い、目指す地域の共有化を図った。また、社会状況の変化による各世帯の課題や困りごとに対するアプローチ並びに地域支援の仕組みを検討した。

- ・地域活動団体 (サポーターや通いの場の主催団体等) が開催する集会等に参加。
 - ・集会での検討事項や、聞き取り調査等から表出した個別課題や地域課題について、サポーター等と共有し、関係機関との連携を図った。
 - ・開始から 10 年が経過した地域安心生活サポート事業の各地域における活動内容・地域状況等の把握、コロナ禍 (今年度) の活動状況の確認、地域における災害の取り組み状況の把握を目的にアンケート調査を行った。
- チーム数：23 団体 (回答は 23 団体) サポーター：152 名 (回答は 102 名)
- ・フードドライブ事業一環として、コロナ禍の状況及び本会の対応をサポーターやサロン集会の場で情報提供した。また、協力可能な団体と連携して、各サロン等の場でも周知、及び食料支援の受け取り窓口を開設した。窓口開設団体：3 団体。

オ 総合事業の多様なサービスの検討会の開催

介護予防・日常生活支援総合事業において、多様なサービスに係る住民主体による支援 (訪問型サービス B) の設置、運営のため関係機関及び団体による会合を開催した。

- ・開催数：4 回 (緊急事態宣言中は未開催)
- ・訪問型サービス B の担い手の懇親会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
- ・「高齢者生活支援担い手養成研修」修了者へアンケート調査を実施。送付 151 名、回答 83 名。
- ・移動確保及び送迎に係る検討を実施。

(4) 障がい福祉事業

ア 手話奉仕員養成講習会の開催

聴覚障がい者福祉への理解を広げることを目的として、初めて手話を学ぶ方を対象に入門課程講習会を葉山町社会福祉協議会と合同で開催した。

<概要及び参加者> 日程：令和 2 年 10 月 8 日～令和 3 年 5 月 20 日 (全 20 回)

※新型コロナウイルス感染症の影響により 1 月 14 日～3 月 31 日まで休講。令和 3 年 4 月以降へ延期。

会場：福祉会館

受講者：7 名 (令和元年度 17 名)

<講師> 逗葉手話講習会講師団

(5) 児童福祉・子育て支援事業

ア 体験学習施設親子スペース等に係る事業（逗子市からの受託事業）

市が開設している体験学習施設の一部運営を行った。

(ア) 親子遊びの場運営事業

a プレイルーム小の運営

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てコンシェルジュと赤ちゃんタイムのみの限定的な利用とした。

b プレイルーム大の運営

未就学児の親子連れが自由に訪れ、遊べる場「ほっとスペース」を開催し、市民交流や市民協働型の事業を展開した。新型コロナウイルス感染症の影響により、予約制で行った。

・来場者数 8,606人（内訳：大人3,655人・子ども4,951人）

※令和元年度は12,474人（内訳：大人5,739人・子ども6,735人）

c 陽だまりサークル

子育て中の親を対象に、友達づくりの場の提供、一時的に子どもと離れリフレッシュできる場の提供を目的に開催した。（新型コロナウイルス感染症の影響で5・6月は中止となり2回開催）

・1回目

<概要及び参加者> 日程：令和2年10月29日

参加者：14名

<内容>「ハロウィンのアイシングクッキー作り」

<講師>永山みえ氏

・2回目

<概要及び参加者> 日程：令和2年11月19日

参加者：14名

<内容>「ママヨガ」

<講師>齊藤晶子氏

d おもちゃ病院

毎月第3木曜日、年7回（新型コロナウイルス感染症の影響により、4・5・1～3月は中止した）開催した。

e プレイリヤカー

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施しなかった。

(イ) カフェ事業

通常のカフェとしての運営を行ったが新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントは中止し、緊急事態宣言中は逗子市の方針に沿って営業を休んだ。

・営業時間 11時～16時（ラストオーダー 15時30分）

11時～17時（ラストオーダー 16時30分）7・8月の平日

・営業日数 195日

・メニュー 簡単なランチ（カレー等）、飲み物（コーヒー・お茶・紅茶等）、アイスクリーム、地元商店や手作りの弁当、焼き菓子、パン類等。

(ウ) 情報事業

子育てが円滑になり、意欲的に取り組めることや孤立せずに子育てできることを目的として、以下の情報の発信を行った。

a 子育て応援紙 陽だまり

未就園児の親を対象にした情報紙「子育て応援紙 陽だまり」の企画・編集・発行を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、編集スタッフが集まらずに編集作業を実施。発行は年1回のみとした。

- ・年1回発行（春号）、配布部数 2,395 部、配布先 41 ヶ所。

b えがおレポート

逗子市の子育てポータルサイトに、市内の様々な情報を掲載した。レポーターは広報などで子育て中の市民を募集した。

(エ) 子育てネットワーク会議

子育て世代の意見を市の子ども・子育て支援施策に反映することを目的とした市民参加型の会議は新型コロナウイルス感染症の影響により、開催しなかった。

(オ) 児童青少年の健全育成事業

0歳から18歳までの子ども達が継続的に利用できる場所となることを目指し以下の事業を実施した。

- ・地域等と連携・協働した児童青少年健全育成支援の推進に関する取り組みとしてミニズシシティクラブ（9回・延べ38名）、こどものまちWS（1回・6名）、ジャックオーランタンづくり（1回・17名）、ハロウィン飾りつけ（1回・12名）を実施した。
- ・青少年に向けた講座として、お片づけ講座（1回・9名）、プログラミング講座（1回・8名）を実施した。
- ・講座やスマイルまつり、ミニズシシティクラブなど総合的な活動を通して、学生委員会の子ども達による自主的な運営が行われるよう専門指導員と連携し支援した。
- ・子育てをサポートする人材を育成し、逗子市の子育て支援の充実や市民協働による支援体制の強化を図り、現場で活躍する仕組みづくりとして、子育てサポーター育成講座（7回・24名）を実施。サポーターコーディネートセンターの運営、虹色サポーター（5名）を派遣した。
- ・地域人材、発達サポーターなどを活用した学習支援や新しい放課後の居場所作りを目指す事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった。

イ イベント保育サポーター派遣事業（一部逗子市からの受託事業）

子育て中の保護者が講演会などに参加しやすいように、講演会開催時に参加者の子どもを一時保育するイベント保育サポーター派遣事業を実施した。

派遣実績

サポーター登録者数	49名（52名）	市委託
派遣依頼回数	24件（70件）	23件
派遣人数	延べ82名（205名）	80名

※（ ）内は、令和元年度実績

ウ 子ども食堂連絡会

子ども応援大作戦をきっかけに、逗子市内の子ども食堂の情報交換・共有を目的に連絡会を開催した。

- ・全5回

(6) 介護予防普及啓発・地域活動支援事業（逗子市からの受託事業）

地域におけるふれあいサロン等の介護予防事業において、体操や音楽指導の講師による出前講座並びにその調整を行った。

ア 地域介護予防活動支援業務状況

- ・業務別実施回数 体操指導 73 件 1,065 名（内高齢者 1,021 名）
音楽指導・健康管理・健康指導・口腔指導は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
- ・介護予防地域活動団体のサロン活動に係る相談業務
講師派遣について 102 件、再開時の訪問 16 件、その他 3 件（すべて延べ件数）

イ 逗子市地域介護予防活動支援補助金関連業務

逗子市地域介護予防活動支援補助金について、各サロンの申請等に係るコーディネートや事前審査を行った。

- ・逗子市地域介護予防活動支援補助金申請手続きに係る補助業務
交付申請書提出補助 47 件、実績報告書提出補助 26 件、その他 21 件
（すべて延べ件数）

ウ 令和 2 年度逗子市地域介護予防活動支援補助金交付

- ・16 団体（令和元年度 26 団体）

2. 助成事業

各種福祉団体に対し、団体助成金交付事業として助成金交付審査会において、適正な審査を行い、活動費等の助成を行った。

(1) 各種福祉関係団体活動支援

令和 2 年度当事者等団体助成金交付実績

団体数	助成額(円)
7 (12)	158,033 (400,000)

※（ ）内は、令和元年度実績

※その他、交付決定後、辞退あるいは全額返金した団体あり

(2) ボランティア団体活動支援

令和 2 年度ボランティア団体助成金交付実績

団体数	助成額(円)
15 (18)	384,856 (590,000)

※（ ）内は、令和元年度実績

※その他、交付決定後、辞退あるいは全額返金した団体あり

(3) 子ども食堂応援事業協力金の支給

新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども食堂の継続に支障が出ている団体の活動を支援するため、要綱等を整備し、協力金を支給した。

団体数	助成額(円)
1	50,000

3. ボランティアセンター事業

(1) ボランティア活動事業

ボランティア活動に関する相談、登録及びボランティアニーズの需給調整を行うとともに、ボランティアの活動拠点を提供した。また、ボランティアの資質向上と活動領域を広めるための各種講座の開催、ボランティアグループとの連絡調整等、ボランティア活動がより豊かなものとなるよう支援し、地域福祉の向上発展に努めた。

ア ボランティア相談員によるコーディネート業務

ボランティア活動に関する各種相談に応じるとともに、「ちょっとした困りごと」のニーズ需給調整や活動に関する助言などを行った。また、地域活動者（お互いさまサポーター）や自治会と連携した支援体制の構築やボランティア活動の活性化に向けた支援を行った。

- ・ボランティア相談、地域支援、個別支援に対する相談：合計 57 件（令和元年度 94 件）

イ ボランティアの育成支援

登録ボランティアがボランティア活動を行うにあたり育成・支援を行った。また、ボランティア活動保険（全額自己負担）加入希望者への対応を行った。

- ・令和 2 年度ボランティア活動保険加入者数
個人ボランティア：11 名（令和元年度 43 名）
ボランティアグループ登録者：700 名 32 団体（令和元年度 748 名）

ウ ボランティア村の開催

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

(2) 災害対応事業（逗子市からの一部受託事業）

逗子市が行う避難行動要援護者避難支援計画の実施に協力した。逗子市災害救援ボランティアセンター設置運営訓練、災害ボランティア育成講座の開催は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。また、逗子市災害救援ボランティアセンターのマニュアルの内容を見直し・改訂、地域における災害の取り組みに関する調査を行うことを目的としてアンケート調査を行った。

- ・チーム数：23 団体（回答は 23 団体） サポーター：152 名（回答は 102 名）

(3) 福祉教育推進事業（逗子市からの一部受託事業）

ア 福祉教育の実施

(ア) 市内小・中・高等学校の児童生徒の福祉教育への協力

市内小・中・高等学校からの要請を受け、地域の実情に即した形での福祉体験を通し、人と人との関わり合いや地域において互いに支え合うことの大切さを学ぶことへの協力を行った。地域の社会資源や地域教育力を活用して実施した。

a 小学校

- ・市内 5 校、12 日間、32 コマ実施。
- ・内容：視覚障がい・聴覚障がいの方との交流
当事者の方と「ボッチャ」
地域の方々との音楽祭
「こころの授業」
「ふくし」ってなに？等

b 中学校

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

イ サマースクールの実施

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

ウ 福祉教育チームの実施

逗子市における福祉教育実践の協議及び、具体化したプログラムを検討する場として、福祉教育チームを設置した。福祉教育セミナー、プロジェクトチーム、全体会（拡大メンバー会合）等について検討した。

(ア) 福祉教育チームの開催

- ・合計 10 回開催

(イ) 第 17 回福祉教育セミナー「コロナ禍から考える、孤立しない逗子の生活」開催

<概要及び参加者> 日程：令和 2 年 12 月 20 日

会場：オンライン（ZOOM）、福祉会館

参加者：83 名（オンライン 67 名、福祉会館 16 名）

<対象> 地域福祉に興味関心がある市民及び福祉関係者

<内容> パネルトーク、基調講演

<講師> 原田正樹氏（日本福祉大学社会福祉学部副学長）

(ウ) タスクチームの開催

- ・「学校実践チーム」合計 4 回開催
- ・「地域活動チーム」合計 4 回開催
- ・「絵本・アートチーム」合計 3 回開催

(エ) 拡大メンバー会合（全体会）の開催

- ・合計 3 回開催

エ 「逗葉地区コミュニティソーシャルワーク基礎研修」開催

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

オ 「みんなで支えあう地域づくり～地域支えあい学習会～」開催（逗子市からの受託事業）

<概要及び参加者> 日程：1 回目 令和 2 年 7 月 21 日（逗子 20 名）

令和 2 年 7 月 28 日（葉山 23 名）

2 回目 令和 2 年 12 月 18 日（逗子 23 名、葉山 11 名）

令和 2 年 12 月 22 日（逗子 23 名、葉山 9 名）

3 回目 新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

会場：逗子市役所

<目的> 「逗葉地区コミュニティソーシャルワーク基礎研修」受講者を対象に継続的な勉強会を設け、将来的に地域の中で、円滑に課題解決につながられるようコミュニティソーシャルワークの技術向上を目的とした。

<内容> 講義・個別ワーク

<講師> 宮脇文恵氏（宇都宮短期大学教授）

松本健一郎氏（コストプランニング代表）（1 回目のみ）

木村浩介（逗子市社会福祉協議会事務局長）（12 月 18 日のみ）

※逗子市、葉山町、葉山町社会福祉協議会と共催

(4) 情報カフェ

高齢者を中心に自分のパソコン、スマホ、タブレットを持ち込み、専門家による指導のもと、操作方法等を学び、情報共有する場を開催した。

<概要及び参加者> 開催日 : 全8回 毎月第4月曜日

※新型コロナウイルス感染症の影響により4・5・
1・2月は中止

会場 : 福社会館

参加者 : 延べ120名

<リーダー> (株) コスタルプランニング松本健一郎氏他5～8名

Ⅲ. 自立支援事業部門

1. 日常生活自立支援事業（名称：逗子あんしんセンター 神奈川県社協からの受託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者及び判断能力に不安がある方のために、福祉サービスの利用手続き等の援助をはじめ、日常生活に伴う預金の預け入れや引き出しなどを支援する日常的な金銭管理サービス及び通帳・権利書などの重要書類をお預かりする書類等預かりサービスを実施し、地域で自立した生活ができるよう支援を行った。

(1) 相談対応・実績

ア 相談援助件数

新規初回相談	24 (23)
契約者へのサービス提供に関する訪問活動	855 (974)
サービス提供以外で相談者・契約者に関する相談援助	2,089 (2,689)
合計	2,968 (3,686)

※ () 内は、令和元年度実績

イ 新規契約件数

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的な金銭管理	2	0	0	1	0	3
書類等預かり	0	0	0	0	0	0
両方契約	0	0	0	0	0	0

ウ 契約終了件数

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的な金銭管理	3	2	1	0	0	6
書類等預かり	0	0	0	0	0	0
両方契約	4	0	2	1	0	7

※契約終了理由：後見人等選任 5件 死亡 1件 施設入所 4件 市外に転居 1件
自分で金銭管理 1件 親族が金銭管理 1件

エ 契約人数

令和3年3月末時点【実契約人数 33名】(実契約人数 43名)

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的な金銭管理	10 (11)	6 (8)	5 (6)	6 (5)	0 (0)	27 (30)
書類等預かり	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
両方契約	1 (5)	2 (2)	1 (3)	1 (2)	0 (0)	5 (12)

※ () 内は、令和元年度（令和2年3月末実績）

(2) その他

ア 契約締結審査会（神奈川県社協）

- ・令和3年2月19日、1回開催。
- ・契約及び解約の可否、支援内容の承認や助言等。

イ 局内カンファレンス

- ・令和2年6月5日、令和3年1月21日、令和3年2月22日、合計3回開催。
- ・契約及び解約の可否、支援内容の承認や助言、生活支援員選任及び退任の承認等。

ウ 生活支援員の登録人数

- ・登録14名（現民生委員児童委員1名、民生委員児童委員による推薦1名、ボランティア団体推薦8名、元民生委員児童委員2名、元消防職員2名）

エ 弁護士相談（月1回、第4金曜日、14時～16時）

内容	成年後見	相続	財産管理	家族関係	金銭トラブル	不動産関係	近隣トラブル	遺言書	債務整理	その他	合計
件数	4 (3)	4 (4)	0 (0)	3 (2)	1 (1)	4 (1)	2 (1)	2 (1)	3 (3)	2 (2)	25 (18)

※（ ）内は、令和元年度実績

オ 広報・啓発

- ・市広報紙、本会広報紙（法律相談）

2. 成年後見事業

(1) 法人後見事業

判断能力の不十分な高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等の権利擁護を図るため、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等、身上監護を中心とした日常生活支援を成年後見人等として実施した。

ア 法人後見業務

業務	後見	保佐	補助	合計
受任件数	5 (4)	2 (2)	0 (0)	7 (6)
終了件数	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)

※（ ）内は、令和元年度実績

(2) その他

成年後見制度の普及や円滑な推進のため、相談支援の強化、専門機関とのネットワークを活用した。

ア 成年後見相談（専門員相談）

内容	制度説明	家族関係	専門職相談	合計
件数	6 (2)	6 (8)	8 (9)	20 (19)

※（ ）内は、令和元年度実績

イ 成年後見相談（月1回 第4水曜日 14時～16時）

内容	概要	申立て	後見事務	その他	合計
件数	5 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (7)	6 (10)

※（ ）内は、令和元年度実績

ウ 広報・啓発

- ・市広報紙、本会広報紙（成年後見相談）

3. 生活困窮者自立相談支援事業（逗子市からの受託事業及び一部独自事業）

生活困窮者等が様々な困窮状態から早期に脱却することを支援し、自立を促進することを目的とした自立相談支援を実施した。また、逗子市の新型コロナウイルス対策総合窓口における相談及び住居確保給付金の対応に取り組んだ。

（1）相談対応・実績

ア 相談件数

- ・新規相談件数 174 件（令和元年度は 72 件）
- ・継続相談件数 55 件

イ 対応延べ件数

電話	来所	訪問	メール	その他	合計
1,324 (1,075)	533 (267)	124 (138)	84 (3)	26 (31)	2,091 (1,514)

※（）内は、令和元年度実績

（2）支援結果等

- ・住居確保給付金 68 件（1 件）
- ・常用就職者（支援前失業中等） 9 件（10 件）
- ・プラン作成件数 42 件（24 件）
- ・生活保護受給決定者 8 件（15 件）
- ・生活福祉資金貸付者（生保受給者等除く） 111 件（0 件）
- ・たすけあい資金貸付延べ件数（生保受給者除く） 44 件（23 件）
- ・生活保護受給者等就労自立促進事業申請者 35 件（14 件）

※（）内数値は、令和元年度実績

（3）フードドライブ事業

市民からの食料支援等の協力をいただき、食料で困っている世帯に対し、食料の配布を行った。また、利用者への毎月の状況確認を行い、継続的な支援を行う共に、市内子ども食堂スタッフ、民生委員児童委員協議会との連絡会を開催し、事業企画、情報共有等を行った。

ア 食料支援

- ・食料支援（白米、レトルト食品、麺類等） 238 件（105 件）

※（）内数値は、令和元年度実績

イ 子ども応援大作戦

新型コロナウイルス感染症の影響等により困窮している子どもがいる世帯を対象に、期間限定の食料支援を行った。必要に応じ定期的なフードドライブ事業に繋げ、継続的な支援も視野に入れ実施した。

（ア）概要

- ・1回目 配布期間：令和2年12月21日～25日

配布世帯：32 世帯（内ひとり親世帯 21 世帯〈内一世帯が父子家庭〉）
計 105 人

・ 2 回目 配布期間：令和 3 年 3 月 22 日～26 日

配布世帯：33 世帯（内ひとり親世帯 18 世帯〈内一世帯が父子家庭〉）
計 115 人

（イ）協力機関等

- ・ 共催：市内子ども食堂スタッフ有志
- ・ 協力：逗子市、逗子市教育委員会、逗子市民生委員児童委員協議会、神奈川県共同募金会、逗子ロータリークラブ

4. 家計改善支援事業（逗子市からの受託事業）

家計収支の均衡が取れていないなど、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、自立相談支援事業と連携し、家計の見直しや債務整理等の支援を行った。

（1）相談対応・実績

・ 17 件（うち逗子市支援決定 5 件）

※令和元年度実績 13 件（うち逗子市支援決定 8 件）

（2）支援結果等

・ 家計表による家計、金銭管理支援

・ 債務整理 2 件（任意整理 0 件、自己破産 1 件、個人再生 1 件）

※令和元年度実績 2 件（任意整理 0 件、自己破産 2 件、個人再生 0 件）

5. 生活支援事業

（1）資金貸付事業

ア 生活福祉資金貸付（神奈川県社協からの受託事業）

他の融資を受けることが困難な低所得世帯や障がい者世帯等に対し、民生委員児童委員と本会が窓口となり生活及び相談貸付援助、償還指導を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の対応に取り組んだ。

貸付相談・決定状況

区分	相談延べ件数	内訳
貸付相談	1,717 (311)	一般貸付<特例 1,126 件含>1,132 件 (252) ※主な相談内容 福祉資金、教育資金、緊急小口資金 不動産担保型生活資金 26 件 (40) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 0 件 (0) 総合支援資金(全て特例) 559 件 (19)
貸付決定	576 (4)	一般貸付 324 件 (4) ※内訳 教育 2 件、緊急小口 6 件、福祉資金 1 件、緊急小口(特例)315 件 不動産担保型生活資金 0 件 (0) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 0 件 (0) 総合支援資金 252 件 (0) ※内訳 総合初回 174 件 延長貸付 59 件 再貸付 19 件

※（ ）内は、令和元年度実績

イ たすけあい資金貸付

低所得世帯等を対象に、緊急かつやむを得ない状況にある者に対し、福祉事務所、ハローワーク及び民生委員児童委員等と連携し、貸付・相談援助・返済指導を行った。

対応状況

相談延べ件数	貸付件数	貸付総額(円)	償還総額(円)
72 (125)	45 (35)	510,000 (290,000)	394,000 (325,000)

※ () 内は、令和元年度実績

(2) 生活援護事業

ア 災害援護

火災等に罹災し、全焼・全壊・死亡及び半焼・半壊・重傷の世帯に対し、見舞金を支給する事業。

・対応状況 死亡1件 (10,000円)

※令和元年度実績7件 (75,000円)

イ 交通遺児援護

県社会福祉協議会からの交付金と本会財源により、交通遺児に対し、小中学校入学時又は中学校、高校卒業時の祝金等の支給を行う事業。

・支給状況 中学校卒業1件 (県社協 50,000円・逗子社協 20,000円)

※令和元年度実績0件

6. 在宅支援事業

(1) フレンドリーヘルパー派遣事業

登録によるフレンドリーヘルパーが、市内に住む高齢者や心身にハンディのある方、出産家庭、乳幼児を子育て中の方等に対して、主に掃除・洗濯・調理等の家事援助、買物・通院同行・薬取りなどの支援活動、子どもの見守り等を行った。緊急事態宣言中は、ヘルパーを派遣せず、必要な世帯に対してはコーディネーターが対応した。

ア ヘルパー活動 (高齢者対応)

内容	人数・活動時間数
利用者登録数	134名 (123名)
ヘルパー登録者数	51名 (48名)
派遣人数	延べ316名 (375名) 月平均26.3名 (31.25名)
派遣時間	延べ4,279.5時間 (5,296時間) 月平均356.6時間 (441.3時間)

※ () 内は、令和元年度実績

イ ヘルパー活動（乳幼児対応）

内容	人数・活動時間数
利用者登録数	9名（10名）
ヘルパー登録者数	14名（22名）
派遣人数	延べ24名（38名） 月平均2名（3.1名）
派遣時間	延べ115.5時間（135.5時間） 月平均9.6時間（11.2時間）

※（ ）内は、令和元年度実績

ウ フレンドリーヘルパー定例研修会

フレンドリーヘルパーの資質向上のため定例研修会を開催した。なお、定例研修会は家族のための介護教室と合同で実施した。

研修実施状況

実施日	テーマ	講師名	参加人数
11月14日	介護の思いがすれちがわないために～介護者のメンタルケア～	グループホームあんずの家 管理者 田島 利子氏	3名
12月19日	楽しく快適に過ごす極意～介護の仕方を学ぼう～	久合田浩幸氏（合同会社クゴリハ クゴリハ鍼灸院）	5名

（2）あゆむサービス事業

一時的又は継続的に家事援助等を必要とする方に対し、サービスを提供する事業であり、当該世帯の福祉の向上を図るために実施した。また、介護予防・日常生活支援総合事業における住民主体の訪問型サービス事業提供団体として実施した。また、緊急事態宣言中は、ヘルパーを派遣せず、必要な世帯に対してはコーディネーターが対応した。

ア 活動実績

内容	人数・活動日数
利用者登録数	29名（25名）
ヘルパー登録者数	35名（34名）
派遣人数	延べ56名（72名）
派遣日数	延べ359日（362日） 月平均29.9日（30.1日）
利用時間（ゴミ出し除く）	延べ94.5時間（118.5時間）
利用回数（ゴミ出し）	延べ278回（253回）

※（ ）内は、令和元年度実績

イ 研修会

資質向上のための定例研修会を家族介護者教室と合同開催した。

（3）介護に関する入門的研修（神奈川県社会福祉協議会からの受託事業）

介護未経験者対象として、基本的な知識の学びや介護分野への導入とすると共に、地域の介護人材の育成を図った。

<概要及び参加者> 日程：令和2年11月7日～28日の4日間

会場：福祉会館

参加者：研修修了者20名

<対象>介護未経験者で介護等に興味関心がある方。

<内容>カリキュラムに準じて実施。23時間の研修。

<講師>市内介護保険事業所職員、本会職員他

※第2回目の研修（1月予定）は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

（４）介護職員初任者研修

・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

（５）家族介護者支援事業（逗子市からの受託事業）

「家族介護者教室」を企画、開催した。在宅で介護する方を対象に、介護技術や知識の習得支援、介護方法に関する相談指導、当事者同士の情報交換等を目的として実施した。なお、第3回、第4回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。合計参加者29名。

日程	テーマ	講師	参加者数
11月14日	介護の思いがすれちがわないために～介護者のメンタルケア～	グループホームあんずの家 管理者 田島 利子氏	16名
12月19日	楽しく快適に過ごす極意～介護の仕方を学ぼう～	久合田浩幸氏（合同会社クゴリハクゴリハ鍼灸院）	13名

（６）介護はじめの一步研修（逗子市からの受託事業）

逗子市からの受託予定であった介護に関する入門的研修が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、申込者向けにオンラインで学習ができる研修を企画、開催した。合計参加者61名。

日程	テーマ	講師	参加者数
3月13日	訪問看護と訪問医療、自宅で過ごすということ	逗葉地域医療センター 逗葉地域在宅医療・介護連携相談室 磯田信子氏	23名
3月20日	認知症の理解と社会資源の活用	こいそふくしなんでも相談室 玉井秀直氏	20名
3月27日	「介護保険と介護のイロハ」	逗子市社会福祉協議会さくら貝サービス事業所 高辻恵示	18名

（７）お元気確認サービス事業

ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯等を対象に、平日の朝に電話等でお元気確認を行い、ご家族等指定連絡先に報告を行った。

・利用人数7名（電話確認7名）

※（令和元年度実績 利用人数5名）

（８）ひとり暮らし高齢者訪問指導事業（逗子市からの受託事業）

おおむね65歳以上の単身世帯を訪問し、心身の状況及び家族等の状況の実態を把握するとともに生活上、介護上の相談及び助言その他必要な相談及び助言を行った。

月	区分	逗子		桜山		沼間		池子		山の根		久木		小坪		新宿		合計	
訪問 件数	在宅		115		249		262		177		90		181		222		67		1,363
	不在	190 (182)	75	374 (401)	125	403 (429)	141	270 (291)	93	169 (137)	79	295 (289)	114	359 (326)	137	112 (111)	45	2,172 (2,166)	809

※（ ）内は、令和元年度実績

7. さくら貝サービス事業所

(1) 居宅介護支援事業（介護保険事業）

介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護サービス計画（ケアプラン）の作成管理及び給付管理を行った。

ア 利用人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人数	69 (67)	70 (67)	77 (68)	82 (68)	87 (72)	89 (73)	89 (71)	91 (71)	90 (71)	88 (69)	91 (71)	89 (69)	1,012 (837)
予防(再掲)	15	16	18	20	26	27	24	24	23	23	21	19	256

※（ ）内は、令和元年度実績

(2) 居宅訪問介護サービス事業（介護保険事業）

訪問介護員によるサービス提供（身体介護・生活援助・訪問型サービス）を行った。

ア 利用人数及び利用時間数

（表記は時間：分）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人数	115 (131)	111 (132)	111 (128)	120 (122)	122 (128)	122 (130)	129 (127)	130 (126)	124 (123)	121 (119)	125 (122)	122 (115)	1,452 (1,503)
予防(再掲)	26	25	26	25	26	26	26	26	26	26	26	23	307
利用時間数	1390:10 (1555:25)	1361:45 (1603:35)	1378:50 (1489:10)	1539:40 (1517:30)	1509:50 (1503:05)	1526:15 (1467:10)	1611:50 (1640:25)	1555:50 (1525:05)	1494:20 (1408:15)	1372:00 (1338:05)	1355:55 (1399:15)	1535:45 (1426:35)	17632:10 (17873:35)

※（ ）内は、令和元年度実績

イ 利用時間数内訳

（表記は時間：分）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
身体介護	608:25 (721:30)	630:00 (726:10)	641:50 (699:20)	754:20 (708:35)	726:00 (694:30)	734:10 (654:30)	795:20 (755:00)	759:20 (690:30)	731:20 (643:50)	642:55 (604:10)	643:45 (699:20)	723:30 (677:10)	8390:55 (8274:35)
生活援助	602:40 (659:55)	579:25 (702:55)	573:30 (635:30)	624:20 (625:25)	625:30 (634:05)	624:35 (643:35)	662:00 (704:00)	643:40 (359:15)	606:30 (616:20)	578:15 (589:35)	567:20 (561:05)	659:00 (602:55)	7346:45 (7334:35)
訪問型サービス	153:00 (174:00)	152:20 (174:30)	163:30 (154:20)	161:00 (183:30)	158:20 (174:30)	167:30 (169:05)	155:00 (181:25)	152:50 (175:20)	156:30 (148:05)	150:50 (144:20)	144:50 (138:50)	153:15 (156:30)	1868:55 (1974:25)
合計	1364:05 (1555:25)	1361:45 (1603:35)	1378:50 (1489:10)	1539:40 (1517:30)	1509:50 (1503:05)	1526:15 (1467:10)	1612:20 (1640:25)	1555:50 (1225:05)	1494:20 (1408:15)	1372:00 (1338:05)	1355:55 (1399:15)	1535:45 (1436:35)	17606:35 (17583:35)

※（ ）内は、令和元年度実績

(3) 障害者総合支援事業

身体障害者居宅介護等事業（家事援助・身体介護・通院介助・重度訪問介護）、移動支援事業（移動支援）を行った。

ア 身体障害者居宅介護等事業 (利用時間及び利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
時間	145:00 (136:00)	152:30 (138:30)	149:00 (125:30)	163:00 (161:00)	151:30 (148:30)	156:30 (145:30)	167:00 (145:00)	152:00 (147:30)	150:00 (128:30)	155:00 (144:30)	162:00 (127:30)	185:00 (148:30)	1888:30 (1696:30)
利用人数	13 (11)	12 (11)	13 (11)	12 (12)	13 (12)	12 (12)	14 (12)	16 (12)	13 (12)	13 (12)	14 (11)	14 (12)	159 (140)

※ () 内は、令和元年度実績

イ 移動支援サービス (利用時間及び利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
時間	26:00 (96:00)	36:00 (87:30)	43:30 (70:30)	36:30 (69:30)	48:30 (48:00)	40:30 (48:30)	65:30 (67:30)	63:30 (70:00)	33:30 (77:00)	41:00 (48:00)	68:00 (56:00)	70:15 (47:00)	572:45 (785:30)
利用人数	4 (8)	5 (7)	3 (8)	4 (6)	5 (6)	3 (5)	6 (5)	5 (5)	4 (7)	5 (5)	4 (8)	6 (7)	54 (77)

※ () 内は、令和元年度実績

8. 地域包括支援センター（逗子市からの受託事業）

担当地域における高齢者に対し、心身の健康保持及び生活の安定のための必要な支援を行った。

(1) 総合相談・支援業務

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	88 (83)	106 (117)	134 (123)	119 (139)	116 (124)	135 (137)	98 (127)	116 (124)	138 (133)	119 (124)	95 (91)	90 (96)	1,354 (1418)
対応延件数	241	264	290	315	279	296	233	286	319	228	272	256	3,279

※ () 内は、令和元年度実績

(2) 権利擁護業務

ア 成年後見制度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	8 (1)	11 (5)	1 (8)	1 (5)	3 (5)	0 (3)	3 (3)	0 (3)	0 (1)	1 (9)	2 (4)	7 (9)	37 (56)

※ () 内は、令和元年度実績

イ 高齢者虐待への対応

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	12 (2)	1 (5)	2 (5)	18 (1)	2 (3)	1 (2)	0 (4)	1 (6)	0 (3)	1 (7)	0 (11)	9 (8)	47 (57)

※ () 内は、令和元年度実績

ウ 消費者被害の防止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	0	9	0	0	0	1	0	2	3	2	3	0	20
	(0)	(3)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(0)	(0)	(1)	(8)

※ () 内は 令和元年実績

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

ア 介護支援専門員への助言等

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	3	3	4	4	1	2	0	0	0	1	6	1	25
	(4)	(9)	(4)	(3)	(6)	(5)	(5)	(4)	(4)	(4)	(2)	(4)	(54)

※ () 内は、令和元年実績

イ 介護支援専門員対象の研修会等開催

- ・ケアマネサロンの開催（他の地域包括支援センターと合同開催） 2回

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	当年度計	
委託	契約件数	1	1	1	4	5	0	1	1	0	2	0	16	
		(2)	(3)	(1)	(5)	(4)	(1)	(1)	(3)	(2)	(1)	(3)	(0)	(26)
委託	給付件数	89	95	93	94	93	95	89	84	85	82	80	84	1,063
		(111)	(111)	(105)	(108)	(112)	(110)	(109)	(108)	(107)	(107)	(100)	(100)	(1,288)
包括	契約件数	2	2	1	2	0	3	0	0	0	1	3	1	15
		(2)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)	(4)	(1)	(3)	(2)	(0)	(22)
包括	給付件数	94	109	92	95	97	96	98	102	99	98	100	103	1,183
		(93)	(91)	(94)	(96)	(97)	(99)	(101)	(86)	(102)	(103)	(103)	(93)	(1,158)
給付件数合計		183	204	185	189	190	191	187	186	184	180	180	187	2,246
		(204)	(202)	(199)	(204)	(209)	(209)	(210)	(194)	(209)	(210)	(203)	(193)	(2,446)

※ () 内は、令和元年度実績

(5) 認知症及び地域活動に関する取り組み

ア 認知症に関する取り組み

- ・認知症サポーター養成講座 1回 延べ参加人 34名参加
- ・認知症カフェの開催 12回 延べ参加人数 157名参加
開催場所の内訳（福祉会館5回、空き家4回、リモート開催3回）
- ・空き家を活用し、認知症の方の活動の場づくり（畑作業など）

イ 地域活動に関する取り組み

- ・民生委員児童委員協議会（中部地区・西部地区）への参加 13回
- ・お互いさまサポーター集会、地域サロン等への参加 38回
- ・逗子警察と特殊詐欺に関する定期情報交換 12回
- ・コロナ禍において集まらなくてもつながれる交換日記を考案。2か所で実施し、合計30冊配布。

(6) 介護予防実態把握事業

- ・逗子市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より抽出された対象者に対し、訪問等により面談を行い、相談・助言等を実施。 訪問件数 50件 事業対象者該当人数 21名

(7) 地域ケア会議推進事業

- ア 個別課題に関する地域ケア会議 2回開催
- イ 介護予防のための地域ケア個別会議 3回開催
 - ・「コロナ禍における高齢者の心身の状況の変化」
- ウ 地域課題に関する地域ケア会議 7回開催
 - ・「通いの場の再開について」
 - ・「空き家を活用しての地域づくり～畑づくりを通して～」
 - ・「通いの場の再開について2」
 - ・「山の根での高齢者支援を考える」
 - ・「集まらなくてもつながれる方法について」
 - ・「集まらなくてもつながれる交換日記について」
 - ・「緊急事態宣言開けの高齢者支援の最優先課題について」

(8) 生活支援・介護予防サービス体制整備事業

第2層生活支援コーディネーターとして、地域資源の把握・資源開発・ネットワーク構築等について第1層生活支援コーディネーターと連携し、生活支援・介護予防に係るサービスの体制整備を実施した。

- ・第1層生活支援コーディネーターとの打ち合わせ 12回
- ・逗子市社会福祉課への報告 12回
- ・多様なサービス検討会に参加 3回
- ・介護予防の取り組みとして「逗子しおかせ体操」を通じて、介護予防、地域づくりの取り組みを実施。(2か所継続開催、評価会1回)
- ・認知症の方、高齢者の買い物に関する状況を池田通商店街の店舗へ聞き取り。(63店中24店舗)
- ・コロナ禍において、潜在的に困りごとを持つ人を把握するため、民生委員と協働し、民生委員が担当している方を対象に、ハガキによる困りごとの確認をした。350枚配布。

(9) その他

- ア 地域包括支援センター連絡会議
 - ・地域包括支援センターの円滑な運営・事業展開を図るため、行政と他のセンターによる定期連絡会に出席した。
- イ 独居高齢者等情報交換会
 - ・地域の独居高齢者の把握及び情報交換を目的に行政、ひとり暮らし訪問事業担当者との情報交換をした。また、ひとり暮らし台帳作成のための訪問業務を実施した。

ウ センター内カンファレンス

- ・ 困難ケース等について必要に応じてカンファレンスを実施した。

エ コロナ禍の影響に関する調査

- ・ 自粛生活の影響による生活や気持ちの落ち込み等の変化を把握するため、予防給付利用者にアンケート調査を行い、3か月かけて経過を追った。

IV. その他

1. 逗子市福祉会館管理運営事業（逗子市からの受託事業）

福祉会館の指定管理者として、市民に使いやすい施設運営を目指し管理運営を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、一定期間休館した。再開後も利用定員等の制限や館内消毒など感染症対策を実施しながら管理運営を行った。

部屋別利用状況

区分	会議室		研修室		ボランティアコーナー		小会議室		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
計	312 (545)	2,796 (6,205)	174 (282)	1,714 (3,529)	295 (158)	1,114 (1,886)	76 (222)	429 (1,712)	0 (0)	0 (0)	857 (1,207)	6,053 (13,332)

※（ ）内は、令和元年度実績

利用者別利用状況

区分	行政関係		福祉団体		各種団体		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
計	8 (11)	109 (235)	833 (1,131)	5,851 (12,327)	16 (65)	93 (770)	857 (1,207)	6,053 (13,332)

※（ ）内は、令和元年度実績

有料件数と金額

件数	16 (68)
金額（円）	8,925 (44,025)

※（ ）内は、令和元年度実績

2. 基金等運営事業

(1) あゆむ銀行の運営

預託のあった善意（金品）を、預託者の主旨に基づき地域に還元した。市民の方々及び団体から多くの善意が寄せられた。

ア 金銭

目的別	件数	金額(円)
一般福祉	59 (137)	399,667 (767,736)
障がい児者福祉	1 (0)	50,000 (0)
高齢者福祉	2 (1)	405,000 (30,000)
児童福祉	4 (4)	45,000 (20,000)
ひとり親世帯福祉	1 (0)	10,000 (0)
福祉基金	1 (0)	45,000 (0)
フレンドリーヘルパー事業	1 (0)	10,000 (0)
生活困窮者自立支援事業 (フードドライブ事業含む)	33 (0)	1,285,645 (0)
合計	102 (142)	2,250,312 (817,736)

※（ ）内は、令和元年度実績

イ 物品

- ・マスク、衣類、タオル、文具、食料品、洗濯洗剤、消毒液製造装置、加湿器、消毒液、など。
- ・ペットボトルキャップ回収活動を NPO 法人、市民交流センターと協働で実施し、リサイクル収益の一部を寄付とした。寄付金額 2,431 円。

(2) 福祉基金の運営

福祉基金を一部運用し、基金果実を地域福祉事業の財源とした。

- ・基金果実額 818,142 円

3. 車いす・イベント機器の貸出

各種団体等に車いす、テント、机、イス、綿菓子機、ポップコーン機、もちつきセット等を有料（車いすは無料）で貸し出すとともに、市民活動を支援するため、印刷機・コピー機の利用を提供した。

福祉機器等貸出状況

貸出物品	車いす	テント	机	イス	綿菓子機	ポップコーン機	もちつき	合計
件数	12 (26)	2 (6)	0 (10)	0 (8)	2 (15)	1 (5)	1 (3)	18 (73)

※（ ）内は、令和元年度実績

4. 社会福祉実習生の受け入れ

福祉人材の育成を目的に近隣大学等からの依頼による実習生を受け入れた。

- ・神奈川県立保健福祉大学 1 名、関東学院大学 1 名
- ・受入期間：令和 2 年 8 月 24 日～9 月 25 日

5. 駐車場管理運営事業

地域福祉事業の財源を確保するため、小坪海浜地駐車場の駐車場管理運営を行った。

- ・小坪海浜地駐車場：契約台数 47 台（令和 3 年 3 月 31 日現在）

6. その他

(1) 神奈川県共同募金会逗子市支会事務局

ア 一般募金実績額

募金別	実績額 (円)	件数	備考
戸別募金	2,141,720 (2,917,245)	8,074 (9,328)	
街頭募金	61,690 (300,368)	8 (20)	街頭募金実績：8団体51名(延べ)が参加 市内1箇所
法人募金	469,000 (390,000)	57 (47)	DM発送数(第一信1,762通、第二信526 通)
学校募金	118,574 (90,078)	14 (13)	市内小・中・高等
職域募金	189,126 (178,191)	43 (44)	一般職域及び公共施設合計43件
イベント募金	8,035 (3,081)	2 (2)	市内のイベント開催に集めた募金
その他の募金	33,082 (20,183)	11 (4)	
合計	3,021,227 (3,899,146)	8,209 (9,458)	

※ () 内は、令和元年度実績

イ 年末たすけあい募金実績額

募金別	実績額 (円)	件数	備考
戸別募金	2,197,581 (2,884,805)	8,026 (9,628)	
街頭募金	49,755 (59,743)	9 (11)	街頭募金実績：9団体32名(延べ)が参加
法人募金	0 (0)	0 (0)	
学校募金	0 (0)	0 (0)	
職域募金	41,721 (33,141)	7 (8)	
イベント募金	0 (0)	0 (0)	
その他の募金	46,388 (0)	3 (0)	
合計	2,335,445 (2,977,689)	8,045 (9,647)	

※ () 内は、令和元年度実績

ウ 令和2年度神奈川県共同募金会逗子市支会委員会の開催実績

- ・第1回 新型コロナウイルス感染症の影響により書面審議
- ・第2回 新型コロナウイルス感染症の影響により書面審議

- ・第3回 新型コロナウイルス感染症の影響により書面審議
- ・第4回 新型コロナウイルス感染症の影響により書面審議

エ 第44回神奈川県福祉作文コンクール

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

オ 共同募金配分

令和元年度赤い羽根共同募金、年末たすけあい募金で集められた募金を地域福祉活動の財源として、令和2年度は以下の事業に配分した。

事業名	金額
当事者等団体育成事業	389,000 円
ボランティア活動育成事業	719,000 円
情報提供事業	161,000 円
手話奉仕委員養成講習会	200,000 円
福祉功労者顕彰	122,000 円
地域福祉推進事業	90,000 円
地域活動計画事業	200,000 円
地域福祉共通事業	2,879,000 円
合 計	4,760,000 円

(総配分額 4,760,000 円)